

## 第6回常任理事会会議録

- 日 時 平成19年10月15日(月)午後1時～同3時
- 場 所 日本歯科医師会 801会議室
- 出席者 <会 長> 江藤一洋  
<副 会 長> 黒崎紀正、井出吉信  
<総務理事> 住友雅人  
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、相馬邦道、高木忠雄、  
佐藤田鶴子、平井敏博、土屋友幸、江里口 彰、  
恵比須繁之、宮崎 隆、栗原英見、荒木孝二
- 第21回日本歯科医学会総会
- <準備委員長> 伊藤公一
- 欠席者 日本歯科総合研究機構  
<研究部長> 石井拓男

[議長 江藤会長]

### 1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

### 2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

### 3. 報 告

#### 1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

一般会務報告(平成19年9月10日～10月14日)

第5回常任理事会会議録(平成19年9月10日開催)

#### 2) 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、次の資料に基づき、準備状況報告がなされた。

第21回日本歯科医学会総会関係報告(平成19年9月10日～10月14日)

□学術プログラム企画・編成に伴う会場使用計画表

### 3) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

□学会会計収支計算書（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

□第21回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書

（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

### 4) 重点計画の推進

#### (1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

##### ①「歯周病の診断と治療のガイドライン」改定検討部会の運営等

黒崎副会長から、標記部会の進捗状況の説明がなされた。

##### ②「有床義歯の調整・指導及びブリッジの適応症と設計並びにリベースのガイドライン」改定検討部会の運営等

黒崎副会長から、標記部会の進捗状況の説明がなされた。

##### ③歯科医療技術の評価・再評価の提案書の提出

黒崎副会長から、標記について、8月31日に専門分科会を対象に厚生労働省主催によるヒアリングが実施された旨、資料に基づき報告がなされた。

##### ④歯科診療ガイドラインの作成

###### ▶糖尿病患者の歯周病診療ガイドライン・ワーキングメンバー

住友総務理事から、先般日本歯周病学会に依頼した「糖尿病患者の歯周病診療ガイドライン（仮称）」の作成にあたり、同学会内にワーキンググループを設置した旨、メンバーリストに基づき報告がなされた。

なお、このメンバー12名に、本学会より栗原常任理事、日本糖尿病学会より推薦のあった田嶋尚子氏（東京慈恵会医科大学教授）の2名を委員として加えるよう申し入れ、日本歯周病学会の了解が得られた旨、報告がなされた。

また同ワーキンググループのメンバー構成は大学関係者がほとんどである点が指摘され、日本歯科医師会推薦の臨床家を加えてはどうかとの提案がなされ、対応することとした。

⑤「歯科疾患の総合的管理及び高齢者の口腔機能評価に係る基本的考え方」に関する検討会の運営等

黒崎副会長から、標記検討会の設置目的および会議の進捗状況について、資料に基づき説明がなされた。

(2) 歯科医療技術革新の推進

①厚生労働省打合せメモ（9月12日）

②医療機器産業政策の推進に係る懇談会（9月27日）

江藤会長から、標記打合せならびに懇親会の開催について、資料に基づき報告がなされた。

なお、厚生労働省（医政局経済課研究開発振興課長他）との打合せは、歯科の治験体制が不十分であることから協議することとなった。

これを受け、本学会歯科医療技術革新推進協議会において、①基準作り、②医療機関（ネットワーク）、③改正薬事法の運用の問題を解決していくこととした。

(3) 学会機構改革の推進

▶日本磁気歯科学会登録申請の取り扱いについて

井出副会長から、標記について、同学会から提出された申請内容について精査したところ、前回の申請と同一内容であることから、当該学会の本学会認定分科会への登録可否については、専門分科会資格審査委員会に諮問しないことが報告され、承認された。

(4) 専門医制度の確立

▶第3回専門医制協議会報告（10月1日開催）

住友総務理事から、標記協議会の進捗状況（口腔インプラント専門医について）および今後の運営予定について報告がなされた。

## (5) 国際交流の推進

### ① 日中歯科医学大会 2008 準備委員会の開催について

江藤会長から、日中歯科医学大会 2008（仮称）が平成 20 年 9 月 28 日（日）・29 日（月）の 2 日間、中国・西安で開催することが日本・中国間で合意したとの報告がなされた。

これを受け、標記準備委員会を近々に開催し、同大会開催に伴う準備・運営に関わる諸事項を検討することとした。

### ② 専門分科会および歯科大学・歯学部の国際交流現況調査について

佐藤常任理事より、新たに依頼する調査事項である標記調査の実施に際し、同調査の目的や活用方法等について、依頼文案を基に報告がなされた。

## 5) 英文雑誌の名称変更等について

平井常任理事から、インパクトファクター取得を目的とした英文雑誌の名称変更について報告がなされ、同雑誌の改名が次のとおり決定した。

現タイトル：DENTISTRY IN JAPAN

新タイトル：The Japanese Dental Science Review

## 6) 診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業における歯科評価総括委員会答申書

住友総務理事から、標記委員会より受理した答申について報告がなされた。

## 7) 第3回医道審議会医道分科会診療科名標榜部会報告

住友総務理事から、標記部会の審議状況について資料を基に報告がなされた。

また、今後の同部会の審議の進捗状況を注視しつつ、情報を入手しながら、本学会の対応策を検討していくこととした。

## 8) 「日本口腔検査学会」設立への対応

住友総務理事から、標記学会の設立への対応について、10月2日付をも

って同学会宛に回答した設立同意書に基づき、報告がなされた。

9) 東北地区歯科医師会連合会からの要望について（学術講演会の継続開催について）

住友総務理事から、標記連合会からの要望書について、資料に基づき報告がなされ、同連合会の学術振興に対する積極的な姿勢を評価し、要望書に沿った対応を図ることとした。

10) 会長報告（日本歯科医師会第159回代議員会・第7回理事会報告等）

江藤会長から、日本歯科医師会第159回代議員会において、本学会認定分科会に10学会の登録が承認された旨、報告がなされた。

11) その他

なし。

#### 4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

① 「歯周病の診断と治療のガイドライン」改定検討部会報告書

黒崎副会長から、標記検討部会より提出された「歯周病の診断と治療に関する指針」に関わる報告書の取り扱いについて諮られ、協議した結果、全会これを承認した。

② 「有床義歯の調整・指導及びブリッジの適応症と設計並びにリベースのガイドライン」改定検討部会報告書

黒崎副会長から、標記検討部会より提出された「有床義歯の管理について」、「ブリッジの考え方 2007」、「リラインの指針」ならびに「スタディモデルの取扱い」に関わる報告書の取り扱いについて諮られ、協議した結果、全会これを承認した。

なお、同報告書にまとめられている各指針の名称を一般的なガイドラインと混同されることのないよう統一すべく、整備の必要性が指摘さ

れた。

また、同報告書は、今月中に厚生労働省（保健局医療課）へ提出することが確認された。

## (2) 歯科医療技術革新の推進

江藤会長から、標記重点項目の推進について、現況報告がなされ、今後の「医療機器産業政策の推進に係る懇談会」の進捗状況を勘案しながら、本学会としての対応を検討したい旨提案され、全会承認した。

また、本件に関連し、住友総務理事から、国民向けの歯科シンポジウムの実施に向けた準備状況が報告された。

## (3) 学会機構改革の推進

井出副会長から、標記重点項目の推進について、現況報告がなされ、これを全会承認した。

## (4) 専門医制度の確立

住友総務理事から、標記重点項目の推進について、現況報告がなされ、これを全会承認した。

## (5) 国際交流の推進

江藤会長から、標記重点項目の推進について、現況報告がなされ、これを全会承認した。

## 2) 事業計画の推進

### (1) プロジェクト研究費 公募用研究テーマについて

佐藤常任理事から、今年度より新たに設置されるプロジェクト研究費の公募用研究テーマについて諮られ、協議の結果、公募用研究テーマおよび運用について原案どおり全会承認した。

顎関節症の診療ガイドラインに関するプロジェクト研究

摂食・嚥下障害、構音障害の口腔内補助装置のガイドラインに関するプロジェクト研究

□要介護高齢者に対する訪問歯科診療ガイドラインに関するプロジェクト研究

これを受け、専門分科会ならびに認定分科会宛にプロジェクト研究テーマ3題をもって研究者（組織）を公募することとした。

なお、複数学会が対象、採用された場合は、コーディネーターを決め、調整を図ることとした。

(2) 歯科用医薬品に関する検討委員会（仮称）の設置について

佐藤常任理事から、標記検討委員会（仮称）の設置について諮られ、その設置目的および検討事項等について資料に基づき提案され、原案どおり全会承認した。

(3) ICD-11への改訂に向けた対応について

住友総務理事から、標記改訂に向けた対応について諮られ、協議の結果、厚生労働省大臣官房統計情報部長より協力要請のあった下記項目について、今後本学会として協力体制をとることが提案され、全会承認した。

□ 疾病、傷害及び死因分類専門委員について

□ 組織的検討体制の整備について

□ わが国の代表としての人材（国際ワーキンググループ協力員）をメンバーとして派遣することについて

(4) 英文雑誌の出版社選定について

平井常任理事より、標記選定について諮られ、英文雑誌編集委員会における検討結果について、資料に基づき説明がなされた。

協議の結果、同委員会での検討結果を尊重し、選択順位で最上位に位置づけられている「エルゼビア・ジャパン」を、新たに本学会英文雑誌の出版社として指名することを決定した。

(5) 第4回国際歯科技工学術大会への後援名義貸与について

住友総務理事から、標記について諮られ、後援名義の貸与を承認した。

○依頼元：日本歯科技工学会　　代表者　末瀬一彦

(6) 役員派遣について

住友総務理事から、役員派遣について諮られ、別紙のとおり決定した。

▶別紙参照

3) その他

次回、第7回常任理事会を11月16日（金）午後3時から開催することを確認した。

5. 閉　　会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。